

地域に開かれた学校をめざして

第2回シラチャ日本祭りに参加

シラチャ日本人学校のあるチョンブリ県シラチャ市では、昨年12月18日に「シラチャ日本祭り」が開催されました。シラチャ周辺には日系企業が多く進出している工業団地が多く、シラチャ市にも約4000人を越える日本人が生活しており、隣県と合わせて「チョンブリ・ラヨン日本人会」を組織しています。この地元日本人会とシラチャ市役所とが、タイ人と日本人の交流を深めお互いに住みよい街づくりを進める一環として、「シラチャ日本祭り」を企画し、開催しました。在タイ日本国大使館の後援をいただき、昨年に続いて2回目となる開催でした。

もともとシラチャには、日本人の子どもたちのために土日のみ開かれる「補習校」がありました。日系企業の進出拡大に伴って、シラチャ周辺に住む日本人が増加する中で、次第にシラチャに日本人学校をつくることを願う声が大きくなり、5年ほど前に、日本人会が学校設立にむけて動き始めました。そして2009年4月に、泰日協会学校シラチャ校(シラチャ日本人学校)が開校されました。それまでにはいくつもの難題があり、それをひとつひとつ解決してようやく開校に至ったのだそうです。その間の日本人会の方々のご尽力は並々ならぬものであったとうかがっています。開校後の現在も、学校への寄付をはじめ多大なる支援をいただいているところです。私は、開校初年度に赴任し、同時に学校の代表としてこの日本人会の役員にも加わらせていただいたために、こうした経緯を詳しく知ることができました。

このようにシラチャ日本人学校は、地元の強い願いにより創立され、支えられ期待される学校です。そのため、私たち教職員はその期待に応えるべく、学校経営方針にも「地域に開かれた学校づくり」を掲げ、尽力しています。「シラチャ日本祭り」にも全校体制で参加し、地域との交流を深めるとともにタイの方々とはふれあうことで、国際感覚や地域貢献の姿勢を養う機会としました。学校が掲げた参加の目的・ねらいは次の通りです。

- ・学校全体でシラチャ日本祭りに参加することで、地域に開かれた学校の一環とする。
- ・本校は、地域に支えられている学校であることをふまえ、児童生徒に地域貢献の姿勢を養うとともに、地域の人々とふれあう機会を持たせる。
- ・シラチャ日本祭りへの参加およびその準備を通して、児童生徒に、役割を果たす責任感や成功体験を得させるようにする。

～第2回シラチャ日本祭り プログラム～

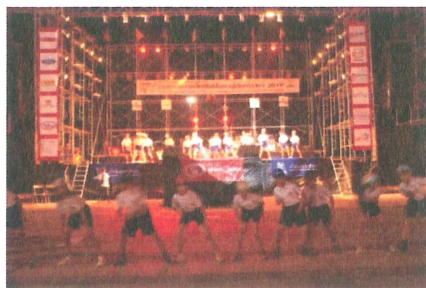
- ・**ハワイアンバンドとフラダンス** (タイ在住の日本人による演奏、演舞)
- ・**TikalangHoppers** (タイ人と日本人合同のポップホップグループによるダンス)
- ・**タイダンス(タイの学校)** (現地校の生徒によるタイの伝統舞踊)
- ・**オープニングセレモニー** (ご来賓列席のもと開会セレモニー)
- ・**よさこいソーラン** (北海道からのゲスト「結海衆」による演舞)
- ・**シラチャ日本人学校演舞** (本校児童生徒による演舞)
- ・**SweeyVacation concert** (タイ日両国でデビューしているタイ人、日本人のコラボユニットのコンサート)
- ・**タイダンス** (本校保護者も含めタイ在住日本人によるタイダンス)
- ・**よさこいソーラン** (北海道からのゲスト「結海衆」による演舞)
- ・**下地健作バンド concert** (沖縄からのゲスト「下地健作バンド」のコンサート)
- ・**NEKO JUMP concert** (日本でもデビューしたタイの双子ユニットのコンサート)
- ・**フィナーレ**

祭りは、午後4時半から始まり、午後10時にフィナーレをむかえました。タイ人、日本人がともに集い、第1回目を上回る約6000人の集客で、大盛況のうちに閉幕しました。

日本人学校は、小学部中学部合わせた全校による振り付きの合唱「花まつり」、高学年と中学部によるダンス「S. T. E. P」、小学部1・2年生によるダンス「A loha E Komo Mai」、小学部3・4年生によるソーラン「船出だわっしょい!」という4つの演目を発表しました。11月に実施した運動会の演技種目を、この祭りのためにアレンジしたものです。特に小学部3・4年生は、北海道からゲストとして参加していただいたよさこいソーランチーム「結海衆」のみなさんといっしょに踊るといふ貴重な経験をさせていただき、会場も大いに盛り上がりました。



↑ 児童生徒による演舞



↑ 祭りに先がけてのボランティア清掃

児童生徒全員が全力で躍動し、すばらしいステージ発表となりました。そして、大勢の人の中で、練習してきたことや自分たちの持っている力をしっかり表現することで、自信を深めることができました。ステージの後は、それぞれ保護者の方々とコンサートを見たり、日本の祭りを再現した縁日を楽しんだりしながら、タイ人日本人を問わず、地域の人々と交流を深めました。また、祭りの開催に先立って、会場となる公園を児童生徒の手で清掃するボランティア活動を行ったことも、地域の方々から高い評価を受け、よい地域貢献の機会となりました。タイでは、ゴミの分別回収などが日本に比べて計画的に行われておらず、また、人々の意識がまだ高まっていないためポイ捨てなども日常的になっていたりします。日本人学校の児童生徒たちが、地域の公園をボランティア清掃するという取り組みを通して、ゴミ問題への一石を投じることになればと思っています。

このように、地域の大きなイベントに学校を挙げて参加することで、学校の存在をしっかりとアピールし、周囲に認めてもらうことは、本校の特性、設立の経緯などから考えて、とても大切なことであると感じます。今後も、積極的に地域社会とのつながりを構築していくよう、努めていきたいと思っています。